

会 議 記 録

記録者：松本由紀

会議名称	仲町・橋本行政区懇談会
開催日時	令和5年5月17日（水）18：30～21：00
開催場所	中央公民館 大研修室
出席者	参加者：45名 町：町長、副町長、遠藤庁舎整備課長、佐藤庁舎整備班長、鈴木庁舎整備係長

<会議内容>

報告・協議

・町長あいさつ

・説明・・・会津坂下町役場新庁舎の建設場所の選考について

・懇談

（町民）

町の長い歴史のなかの60年に一度という大事業において、建設候補地の比較資料も見させてもらったが、それ以前に仲町・橋本の住民感情としては一回決まった事をなぜひっくり返したのかということがある。2月21日に行われた町長と懇談会では、まだ方針は発表できないとあったがその翌日に旧坂下総合厚生病院跡地にすると発表された。昨年の6月から2月まで検討委員会に入りずっと注視してきたが、移転するにあたり議員、職員、町長、この3者での議論をつくしての結果なのか。町長の一存での結果なのか。そうであれば議論をつくしたとは言えないのではないか。資料はもっともらしく作ってあるが、こうはならないだろうという事もある。もっと一つ一つの事について議論しながら、納得いく答えをだしながらこういう方針になったのかお答えいただきたい。

アンケートでは20,000㎡と言っておきながら実際は半分しか使わない。これも町民を馬鹿にしていると思っている。これについても説明がない。それなのに移転だという方針ばかり言っている。取り残された住民の感情も抑えていない。細かい事をあげるときりがないが、これまできちんと議論してきたのか。それともし尽されたのか。いかがか。

（町長）

旧坂下総合厚生病院跡地の図は我々がつくったものである。議論してきたのかということだが、まだこれは決定ではない。まだ議会とも議論している最中だ。その中で地元の皆さんと同じ書類で見ていただき皆さんの意見も拝聴しながら、並行して進んでいるという状況だ。

(町民)

定例会に提出するのだろう。

(町長)

定例会に提出する議案は、一度現在の場所に議決しているのでそれを場所の変更として出した
いと思っている。出したいと思っているので今議論している。議論もしないでいきなり提出する
ということはない。議会とも一生懸命議論しているところである。

(事務局)

庁舎検討委員会は昨年4月庁舎建設事業が再開したとして、委員の方を再度委嘱しなした。
若者の意見を取り入れるとして町内の方々から公募により委員に入ってください、人数を25名
とし検討委員会を開催した。回数としては2回開催させてもらった。その中で今までの庁舎建設
事業が延期になった経過や議会からの請願、意見書関係の説明をさせてもらい、建設場所につい
ては懇談会や町民アンケート等で幅広く町民の方の意見をお聞きしながら、総合的に判断し、町
が判断したいとお話させていただいた。

(町民)

ということは、検討委員会では何も議論されなかったということか。議論が尽くしてないとい
うことだ。町長答弁でお願いします。

(町長)

こうして庁舎建設の配置図案もそろったため、地元の皆さんにも説明させていただいている。
議会も同様。庁舎建設の検討委員会においても同様の資料を提示し、開催していく考えである

(町民)

検討委員会では現庁舎で結論を出していたわけだから、まずはそこに意見を伺い、それから議
会という運びではないか。町から徴集されたのは町の代表としてのはずだが、それを全く無視さ
れている。違うのか。

(町長)

無視ではない。考え方が違うのかもしれないが、我々は議会と並行して地元の町民の皆さんに
も示していき、その後検討委員会にも示していこうと順序立てている。

(町民)

話にならない。検討委員会の規約をきちんと読んでほしい。決定のための検討委員会ではない
のか。時間がないので次の質問にいくつてくれ。

(町民)

この懇談会を数回行っただけで議会に提出するのか。２３日からの懇談会では今日の内容も全部示してほしい。行ったことの報告ではなく、内容が重要である。よく課長は親切丁寧に説明を行うと言っているが、その辺をわきまえて行ってほしい。

(町民)

そもそも旧坂下総合厚生病院跡地とすることは、町長個人に聞いただけで、今どようになっているか皆分からないと思う。町長の話が独り歩きして、このような対立になっている。今、あの土地は厚生病院のものか、マルト建設のものか、誰の所有となっているのか分からない。もらったのか。

(町長)

土地は購入していない。土地は福島県農協厚生連の所有。マルト建設関連でいうと、厚生連からの話をお伝えすると、厚生病院の移転は跡地の在り方も含めて考えなければならないという中で、マルト建設に跡地を購入してくれないかと農協の中央会の前会長が口頭で約束をしたようだ。契約もしていない。今現在は、農協の基幹決定としてマルト建設が購入するという事にはなっているが、私の方でも農協の方にお話させていただいたところ、厚生連としては民間の方に売却するよりも会津坂下町で購入してもらったほうがいいという話もいただいている。マルト建設でもその方がありがたいという話だった。それからは購入関係の手続きは進んでいない。

(町民)

大体いくら位なのか。

(町長)

厚生連とマルト建設の話で大体４億６千万円ということである。

(町民)

では、役場としてはまだ具体的に購入の話し合いにはなっていないのか。

(町長)

移転の話がまとまれば購入するが、そうでないならばしない。

(町民)

まだ何も決まってないのに、このような資料を出すのは変ではないか。仲町にある現庁舎を過小評価し、旧厚生病院跡地をものすごく良くうつしている。これは卑怯だ。おかしい。

(町長)

今の場所の狭さは、言葉だけでは伝わりにくく理解してもらうのも難しいため、図で示させて

いただいた。旧厚生病院跡地もどのような配置を考えているのかを示すべきと考え、今回ださせていただいた。そして皆さんに考えていただきたいとお示ししたもので、縮尺は若干違うがどちらを良く書き、どちらを悪く書きということはないのでご理解いただきたい。

(町民)

今回の資料と以前の資料はあまり変わっていないように思う。片方を良く書き、片方は悪く書いている。旧厚生病院跡地の方だっておけやからの道路は大変狭く、大型車も通れないため、今後拡張すると思うがそういった事も書いてない。この資料では比較対象にならない。この資料では町民を誘導しているようにしか見えない。

前回の懇談会の時の資料では20,000㎡と言っていたのが今回は半分しか使わないとなっている。なぜこのような書き方をしたのかも説明してほしい。町として前回から一回も説明をしていない。だから町民はあの土地は誰のものなのか、庁舎建設はどうなっているのかとなる。疑問しかない。それだけ説明も議論も対話も足りていない。何もわからない中で今日来てみたらこの資料だ。これでは何も分らない。23日からの懇談会ではその辺りも精査してほしい。これはお願いだ。

(事務局)

資料について、路線等図面に出ていない部分については表示させ説明に加えたい。町民アンケートでは市内の10,000㎡以上の未利用土地がこれだけあるということを提示させていただき、アンケートをとらせていただいたという認識。誤解を与えてしまったことに関してはお詫びしたいが、表示した面積全てを使うという事ではないとご理解いただきたい。

(町民)

その辺りをきちんと説明してほしい。書いてあれば全て使うと思ってしまう。そこまで踏まえてしっかり説明することが大事だと思う。

(事務局)

今後丁寧な説明をしていく。

(町民)

資料について重要度1位2位と過分にうたっているが、3位の用地買収費・建設費が抑えられることの構成比は50%を超えているので、これについての資料も出してほしい。検討のしようがない。

(事務局)

アンケートで用地買収費・建設費が抑えられることが3番目に多い回答だったが、建設場所の選考について重要視した部分は1位のゆとりある駐車場スペースと、2位の災害時に防災拠点となることが多かったことから今回はこの2点においてより多くの部分で検討した。当然、費用を

抑えることについても、4位の庁舎建設による周辺地域の活性化についても、重要な面と考えているため、今後専門的な意見も取り入れつつ、低コストの建設を検討していきたい。

(町民)

予算ありきではないのか。そんなに町は裕福なのか。

(事務局)

建設費や用地買収費について概算の概算だが、今後説明していく中で提示していきたい。

(町民)

候補地が挙がっているわけだから、大きい枠組みでいいので出してもらわないと。町民の財布からお金を取っていくわけだから、その辺はしっかりしてほしい。

(町民)

重要度1位2位という形でそれぞれの候補地が評価されているが、3位を付け加えたらそれぞれの評価は大きく変わるのではないか。それを含めての資料で説明を求める。はじめの懇談会からずっと言っている。

(町民)

旧厚生病院跡地での駐車スペースは120台ほど、現庁舎周辺では60台ほどとなっている。現在旧営林署跡地や小学校の駐車場は職員駐車場となっており、現庁舎で建設すればそのまま使えるが、旧厚生病院跡地とするとこの駐車スペースの60台ほどは職員駐車場となるのではないか。それでは使いづらくなるのではないか。別に職員駐車場を用意するとなるとまたお金がかかる。その辺り全体を見た時の金額の提示は必要ではないか。

(町民)

関連して。提案として、今現在の役場や防災倉庫に関しては社会福祉協議会も入るようだが、現在の社会福祉協議会が建っている場所と職員駐車場を倉庫にすれば何の問題もない。

予算的な事についても、県有地を3億5千万円で購入する予定があり、旧厚生病院跡地の半分も購入する。それだけ土地を購入して未使用地が増えるわけだが、マスタープランでも未使用地の処分をしなさいと専門家から言われているのではないか。その辺りももう少し考えていただきたい。23日からの懇談会でも色々な形で皆さんに報告して、これでいいのですかと。それから町長が判断して議会に提出すればいい。6月議会に提出するというからこんなに急いで懇談会を行うのだ。

(町民)

町長は当時議長であり、議決の大切さは一番ご存知かと思う。議決を大事にするならば、今現在の庁舎をどのようにすれば町民が有効に使えるようになるといった議論がないのではないか。

防災施設を一元化する必要もないし、旧厚生病院跡地の10,000㎡と同等の防災施設をこの土地につくること自体間違い。防災施設は分散させた方がいいと専門家も言っている。きちんと考えてほしい。

(町長)

防災倉庫はこれだけで足りるとは思っていない。今現在も4か所に分散し備蓄しているが、それだけでは足りない。段ボールでできたベッドや区切り等は水に浸かると使いものにならない。水に浸からないような備蓄の仕方でも必要。土嚢等も空いているところ見つけながら備蓄している。緊急時に相当の時間が掛かる状態に現在はあるということで、やはり同じ敷地内で誰でもすぐにとっていけるような初動体制はとっておくべき。現在の総合車庫について、もとめた経緯が分からないが、車社会の中で公用車を別に停めておく場所が必要だったのではと思っている。しかし、私の考えでは防災倉庫も総合車庫も庁舎の一部、付属品と考え同一敷地内にとっている。

(町民)

6月議会への提案は早いと考えている。代弁になるが、私の関係者が以前庁舎建設委員会の委員として出席した際、6ヶ月の間に20回程度会議を開催し、議論を重ね、現庁舎の場所がいいのではないかと結論を出したという。先ほどの説明だと、新しい委員会の開催は2回。現在色々な方から意見が出されており、これはすごくいい意見なのではないかと思っている。今後新庁舎を建てるとすれば、町民の中に応援団がいればいるほどいい庁舎ができるのではないかと思うし、納得のいく庁舎をつくっていただきたいので、ぜひ庁舎建設検討委員会を開催した上で議会に提出していただきたい。

(町民)

先ほどの予算に対する答弁が欲しい。

(事務局)

事業費の話について、一度試算した内容をお話したい。現建設予定地の場合ですと本体工事、解体工事、設計監理等々を含めて35億3千万円ほど、旧坂下総合厚生病院跡地の場合だと36億6千万円ほど、旧坂下高等学校跡地の場合は校舎の改修として21億3千万円ほど、県有地の場合は36億3千万円ほどと概算の費用として試算した状況がある。

(町民)

今のは建築関係の費用だけか。土地の買収費用やその他諸々が含まれているものか。

(事務局)

建築の本体工事、外構工事、遮光など解体工事、設計監理、用地取得、土地の造成、家屋移転補償その他備品関係等様々を考えたうえで、今現在の概算の試算として話させていただいた。

(町民)

設計はいくらでできるのか。

(町民)

今の話で、旧厚生病院跡地に建てると中心市街地活性化として追加で10億円近くかかると思うがいかがか。

(副町長)

中心市街地の部分については様々な視点から考えて、財政シミュレーション上で約8億円を想定している。

(町民) ※地権者

役場の隣で美容院をやっている者だが、立ち退かなければならない側の意見である。我々には去年の4月には来年の11月にはここを出て行ってほしいと話があった。生活もかかっている我々にそこまで言えたのは、ここでいいと思っていた理由があったはず。なのに2週間後には変わってしまった。影響があるのが数人だからいいと思ったのか。違うはず。あの時いいと思った理由があるはずなので、まずその理由を答えてほしい。我々にそれだけの事を言った責任がある。ここより良いという理由を言っていただくまで我々も納得はできない。一度決まったことを覆してまでした。ここが良かった理由、良くなかった理由の回答を求める。

(町民)

なぜ江戸鮎を解体したのか。

これは町長答弁だ。職員では責任がない。

(事務局)

当初4月に挨拶に伺った際には我々職員でお邪魔した。事業が再開したため、ご挨拶をし、スケジュールについても3月の議会の全員協議会で説明させて内容についてお話させていただいた。そのあとも何度か足を運ばせていただき、説明不足のところもありましたが、状況を説明させていただいた。混乱させてしまったことに対し、お詫び申し上げたい。

用地買収・建物補償の関係については、市街地活性化にむけ町としても重要に考えていますので、引き続き用地買収・建物補償をお願いしたいと思っている。

(町長)

2週間で考えが変わったわけではない。私が職員に言っていたことは、役場が現庁舎の場所に建つにしても、移転するにしても買収という形で皆さんにご協力を得なければならないということで今まで凍結していたものを再度動かしたということだ。

役場をつくるにも、まちづくりをするにもあのエリアを拠点としたいという想いで進めてきた。

(町民)

庁舎が移転してしまつては、農協、福島銀行全て向こうに行ってしまう。町なかが破壊されます。残された我々についても考えてほしい。

(町民)

町の経営者として、この資料を出すことがまず疑問だ。重要度１位２位がなぜ重要なのかよく分からない。さらにお金にいくらかかるかが抜けているが、民間や大きな自治体であればこれでは通らないだろう。なぜ重要度１位２位を重要視したのか。また先ほどの試算は何社に見積もりを依頼したのか。

(事務局)

重要度１位２位については、アンケート内で回答いただいた数が１位２位ということで町民の方が新庁舎にあるべき姿として望んでいるのではないかと判断した。

(町民)

なぜ第３位を消したのか。

(事務局)

消したという事ではなく、今回は第１位と２位で選定し、第３位や４位については今後基本構想や基本計画を進めていくうえで、専門的な知識を入れながら、再度検討していくと考えている。

(町民)

なぜこの２つのみを重要視しているのかを聞きたい。

(事務局)

繰り返しになるが、アンケートにおいて町民の方が新庁舎の在るべき姿として望んでいるもので多かったもので検討した。

(町民)

では、町民の望んでいるのはこの２つだけで、財政的なものは望んでいないのか。私は経営的観点から聞いている。そもそも役場庁舎建設の延期は財政的な問題ではなかったのか。そこに立ち返って考えなければならないのに、なぜ第１位と２位だけを優先するのかということだ。そこが皆さん理解できないことではないか

(町民)

旧厚生病院跡地に建設するために有利なのがこの２つだったからではないのか。そうでないならば理由を聞かせてほしい。

(町民)

厚生病院ありきである。

(事務局)

アンケート内において回答数が多かったからであり、決してその場所ありきで検討したわけではない。

(町民)

極端な話、財政的なものはどうでもよく町民が望んだならば何でも行うという事か。

(副町長)

そうではない。ある程度の概算金額を加味しながら財政シミュレーションを行い、議員の皆さんにもお示ししながら、財政的な運営が可能かどうか判断をしている。

(町民)

少し議論がずれている。財政的に可能かもしれないが、3つの場所でいくらかかるかの比較が必要ではないか。そうでないと判断できない。

あと先ほどの1つ目の質問で、何社から見積もりを取ったのか聞いていない。

(事務局)

概算の算出は見積もりでなく、町の方で単価を見ながら算出した。

(町民)

それは見積もりではない。民間はきちんとした建設会社や設計会社に複数社依頼し、そこではじめてどうしますかとなるが、自分たちでやるならばいくらでも調整できてしまう。

(事務局)

建物であれば、設計として建物の規模や中の仕様、建物の資材関係等もあるため正確な金額がでないと思うが、今回は標準的な部分で国が示している積算基準を積み上げた概算の費用として算出している。

(町民)

今まで出た意見や町が話した内容は記録しているのか。以前お願いしたが、誰が行っているのか。

(事務局)

今もレコーダーで記録している。それを文書化している。

(町民)

庁舎を建てるということは町民の税金、いわば出資。これだけ出資しても良いよという庁舎を皆が納得したうえで建てなければならない。庁舎があり、お寺があり、民家があり、飲み屋が出来てというのがまちづくりの原点。しかし、旧厚生病院跡地に行った時に発展性があるのか。そういうのも含めて議論されなければならない。一人ひとり町民の想いというものをくみ取って。人口が減少し、２０年後には１万人をきるであろう時に何十億も借金していいのかということもきちんと議論してほしい。

先ほどもお話がありましたが、現在はドーナツ化現象が進んでいて、大切なものが外に出ていってしまうと町の機能性というものも失われてしまう。そのような中でたった１枚の請願書で始まったこの騒動が、来年３月の議会選挙で多数派が占めたら、またひっくり返せるという事。そこが問題。一度議決されたことを多数決でひっくり返ってしまうということは、時の政権によって変わってしまう、議会制民主主義の根幹を覆してしまうもの以外何物でもない。これほどまで町を二分する事が過去にあったのかと考えていたので、やはり一度辞職され、きちんとマニフェストで町長のしたいことを明言し、もう一方の意見と選挙にもっていくのが町民としてははっきりするのではと思う。今辞職ということが難しいのであれば、町長が予算等もきちんとだして、住民投票でみんなで決めようという方法もあるのではないかな。

(町民)

今日は懇談会という名の説明会か。我々の意見を聞き、町長の考えが変わるという事もあるのか。そうでないならば自分たちは意見を言うだけ言って、のれんに腕押し。聞く耳持たずだ。意見を変える気もないのに、懇談会を行っても何も意味がない。ただ自分たちのガス抜きだろう。

今、資料を見ていたが根拠が分からない事が沢山ある。まず庁舎の敷地面積だが、３５．３×１４６とあり職員数とあるが幼稚園等の外部職員も含んでか。

(事務局)

新庁舎に入って働く職員を想定しているので、保育所・幼稚園の職員は含んでいない。

(町民)

これから人口はどんどん減少し、それに伴い職員も減らざるをえない。今現在ちょうどいいかもしれないが、１０年後２０年後は空きスペースだらけになってしまう。先のことを考えるとそんなに広大な面積がいるのかということが１つ。

駐車場も１２０台必要なのか。今現状で、庁舎前の１５台でなんとかまわっているではないか。今役場に行く人は戸籍や保険の方のみで、他にはいかない。住民票がコンビニで発行できるようになれば駐車場ががらがるのは目に見えている。

全て道が狭いことや踏切がある等、全て現状での案であり、もっと工夫するつもりはないのか。もっと知恵をだしてほしい。病院の跡地を買うお金で今現状の問題は解決できるのではないかな。

(事務局)

駐車場は現状、本庁舎前が15台、東分庁舎前が10台、東駐車場が55台の計80台あり、会議や入札等があると混雑し、駐車場に入れないと来庁者のかたから伺う事もある。そのようなこともあり今回は1.5倍の120台を目標とした。駐車場については来庁者ばかりではなく、防災拠点という観点もあり、災害時の支援関係も勘案して庁舎の敷地の中にそういった防災拠点の敷地も確保したいというところから台数の算定となっている。

現本庁舎についての図面関係は現在での分析と話もあったが、すべてを現在での分析としなければ比較・検討時にぶれてしまうというところもあるため、候補地の中で様々な部分を町民が望む項目において検討した。

(町民)

120台の算出は調査したわけではなく感覚的に1.5倍としたのか。

(事務局)

1日当たりの来庁者を調査した経過がある。その時点では来庁方法までは調査しきれていないが、250名から300名ほどが来庁された。車については、現在の駐車場の数から災害拠点部分も含めると120台程度が望ましいとした。新庁舎が持つべき機能として必要であるという判断。

(町民)

感覚的だということが分かった。

新庁舎の配置図だが、なぜ真ん中に庁舎があるのか。裏側に持っていけば、通路もいらなし、駐車台数が増えるのではないか。わざとこうしているのか。

(事務局)

わざとではない。資料の5ページ4の検討結果についてとあるが、その①の下の方に建築基準法における斜線制限等による建築制限があるとの説明がある。今回3階の建物を想定した場合、北側の道路の境界線よりある程度距離をとって建てなければ、北側道路のさらに北側の敷地に対し日影等々の規制がある。今回のように直方体のような建物を想定した場合、配置図にあるような場所に配置される。

(町民)

お金のことに関して、現庁舎は33億、旧厚生病院跡地は36億とのことだが、現庁舎の場合職員駐車場が確保されているためその程度で済むと思う。しかし旧厚生病院跡地はおけやからの用地買収にかかる費用や職員駐車場の確保にかかる費用等お金がかかることが次から次とできて36億円以上にかかる。旧厚生病院跡地の方になるのであれば、我々にとって一番大切な中心市街地活性化の8億円も載せなければならないはず。先ほどから申し上げているもの全て含めて40数億円と町民に示さなければならないと思う。

アンケートでは20,000㎡使うと言って、10,000㎡しか使わないということはアンケートが無効ではないか。無効であるアンケートに対して、このような資料をつくってくるのは町民に対してどう説明するのか。

10,000㎡使う事や40何億かかるかもしれないときちんとアンケートもとり、町長、職員、議会ともっともっと議論すべき。我々素人が見てもこれだけ疑問に思う資料が出てくるということは、それだけ町長と議会が話していないということだ。これで6月議会に提出され、議決されれば、議会は何をやっているのかという話だ。9月や12月、3月ともっと議論してから提出してはどうなのか。6月でははやい。誰のためにもならない。

(副町長)

鉄砲町からの導線については、都市マスタープランや用途地域の中でも都市計画道路として開発しなければならないとなっている。奥の方に家を建てていらっしゃる方については一部をセットバックしていただき、計画道路線の中で進めている。途中の部分については都市計画として幅員の計画もあるので、どういう補助が一番いいのか議論も始めている。マスタープランの中で町をどういうふうにつくっていくのかという部分も含めて全体的な見直しを図っているところである。様々な補助金等も加味しながら、可能な時期や手続き方法等の検討を進めている。

(町民)

都市計画という言葉がでたが、以前の計画では役場が厚生病院の場所にいくということは言っていなかった。現庁舎の場所に建てるとなっていた。コンサルタントに頼んで作っているが、全く計画通りにやっていることではない。

(副町長)

都市マスタープランは過去10年くらい前のもので、今年度全体的に土地利用等も含めて見直すとして現在進行中である。

(町長)

役場庁舎を旧坂下総合厚生病院跡地にすることがありきではない。まちづくり、ライヴアン通りを活性化するにはどのようにすれば良いのかとずっと自問自答していた。現在役場があつてさえもこのような状態であることをどのように受け止めるのか。このままかまわずもっと進んでしまっはどうになってしまうのか。本来まちづくりというのは、役場が先頭に立つのではなく、民間の方が行っていることに対して町も支援する形を取るのが普通かと思う。ある所で聞いたのは、今までそうやって先頭に立って行おうとした人は何人かいたが、皆足を引っ張られてしまったということ。そうであるならば、今我々役場が旗を振っていかなければならない。本当にこのままでいいのですかと思う。役場があつてのまちづくりをするのか、役場が移転したスペースを利用してのまちづくりをするのか、それは個々の考えだと思うが、私はそのスペースを最大限利用したい。観光バスも入れるようにしたい。観光客の方に町内の由緒あるお寺さんを巡ってほしい。観光というものを目玉してまちづくりできないかと今、私なりに補助金等を探っている。

決まっていないうちにはお話できないが、6月議会が終わった際にでも国へ話に行ってくださいと思う。とにかく庁舎の跡地のスペースを有効に活用し、まちづくりをしたいというのが私の想いだ。

(町民)

公約にしては？真意を問うてはどうか。

(町長)

6月議会で否決されるようならば、一度辞任し選挙をするかとも副町長と話していた。

(議員)

今ここに議員は7人いる。過半数いるが。

(町長)

その覚悟はしている。

(町民)

庁舎の位置は重要な問題だと思うが、地方自治法第4条の規定に基づき議決をするという形でのよろしいか。過半数ではなく、3分の2以上ということでしょうか。

(副町長)

庁舎の位置の条例があるが、条例の提出時期は設計費が決まりあがった時期が一番望ましいという範例が出ている。その前段で行うというのは、実施設計の金額が決まっていないうちは望ましくないという部分がでているので、あくまでも地方自治法第4条については庁舎が建て終わり移転する時点で条例の改正になるのではないかと考えている。

(議員)

それは議会が決めることだ。あなたたちが決めることではない。

(副町長)

あくまでも庁舎の位置を決める条例に関しての話。

(町民)

法律のことは良く分からないが、建物ができてからの提出か。設計の段階か。

それであれば、議会の3分の2の賛成がなければ廃案なのか。分かりました。皆さんそういうことだそうです。

(町民)

防災倉庫について、今は備蓄を分散させるのがいいとなっている。その辺を町長には理解してもらいたい。

今日初めて図面を見たが、旧厚生病院跡地では町の顔でもある庁舎の前に大きな倉庫がある。なぜか。誰が設計したのか分からないが、これはお金を払って作ってもらっているのか。普通の一級建築士はこのような図面は書かない。庁舎は顔である。こういう図面を出すこと自体おかしい。

4月に配られた防災マップでは中央公民館は防災時の避難場所となっていない。坂下の町民は水害があればどこに逃げていくのか。逃げたくなければ安心・安全なまちにならない。防災防災と言っているが、国でも県でも減災という言葉を使っている。庁舎を建てるよりも町民の安全を考えれば、防波堤をつくったり土手を強化する方にお金を使えないのか。今回の防災マップでは茶屋町、橋本地区に新たに家を建てる人などに水害時危ないのでここは住めないと言っているようなもの。その辺りも考えてほしいし、そんなに急いで物事を決めなくて良いのではないかな。皆さんと検討していい案をつくりませんか。

(町民)

旧厚生病院跡地と現庁舎の2つを案として、今現状は全くの白紙という事か。

(町長)

今現在何も決定はしていない。旧厚生病院跡地というのは我々の案であり、皆さんにご理解いただければ当然移転もできない。そのためこうしてご理解いただきたいとお願いしている。

(町民)

白紙ということであれば、検討委員会を開催してその中で相談して進めていただきたい。役所が勝手に案をつくって決定したようにあちこち載せられては困る。

(町長)

日程はここでは言えないが、開催する。

(町民)

今ほど白紙にして検討委員会で決定するとあったが、1回目から出ていた身としては、検討委員会では現庁舎と決定をだしているの、今更そのようなことをするのはいかなものかと思う。庁舎の中身や駐車場の台数等内容について議論するのは良いが、場所は答申しているので違う問題。

(町民)

自分の意見は仲町だからここに置けではなく、町全体を考えてである。桜木町を見てみてほしい。何十年もかけて何にもなってない。商売人がどんどん辞めている。町長が跡地利用をして活

性化と言っているが、5年10年で何もできるはずはない。だからここに庁舎を置いてくれ。旧厚生病院跡地は農協に頑張ってもらえばいい。

(町民)

A3の資料は非常に作為的。今後こういう資料を使つての話し合いは良くない。～しか等の文言があるが、これは客觀的事実とは違う。これを見た時町民はどう思うか。色合いもそう。片方が黒く、片方が白ければ印象も変わる。ずるいやり方。

大元にもどり、江戸鮎の跡地を買い取った目的はなんだったのか。土地を買って立派な建物を建てようという事ではなかったのか。普通の人には可処分所得も減っている。皆日々工夫し節約し生活している。町長、知恵と腕ではないか。もっと一般市民の感覚を大切にしてほしい。大勢と既得権に飲み込まれないで。1回投資したものを変更するというのは民間企業でいえば責任問題。100歩譲ってこちらの方が町民の方にとってより良いものとなると説明できるのであればいいが、そうではない。資料の道路もわざとらしく狭く書いてある。であればセットバックして道路を広げればいいではないか。倉庫もここに置くから狭くなる。どうしても旧厚生病院跡地に行かなければならないならば倉庫の部分だけでもいいのではないか。そして町の顔となるシンボリックな庁舎を建てればいいのではないか。もっと知恵を出してほしい。

(町民)

ということで、6月の議会に提出するのはやめた方がよい。こんなにも多くの質問があり、それを半月で答えるということとはできないと思う。この状態で議会で議決したら、それこそ議員は何をしているのかということだ。議員にも策略があるのかと勘ぐってしまう。そうならないように丁寧に進めていくべき。町民同士の仲も悪くなってしまう。町長にも言っているし、議員の方にも言っている。